

蔵増北青壮年会だより  
発行 第42号  
平成16年12月20日

# そうねん



発行人会長 今田 光一  
編集委員長 秋保 栄  
編集 機関紙編集委員会



date 平成16年8月7日(土) 北公民館前にて

サイコ～  
みんなで  
ビアパーティ

はじめの

平成16年夏、いま思つとすこい猛暑、ちよつと意外かも知れないが、今年、北青壮年会で初めてビアパーティーを開いた。

年初めの「新年を祝う会」に代わり、とにかくいっぱい人を集めよう、会員みんなで気軽に語り合おう、ということとで企画した。形式的なものは一切なく、単純にワイワイ、ガヤガヤ、わっはっは、そこに理屈はいらない。生樽もこらんのとおり。野外での雰囲気は一味違う。

来年はもっと、もっとこの指とまれ。



早く大きくなあれ。大きくなったら、桜の下で花見をしよう。記念植樹H16.11.21

# 桜の舞鶴山を後世に残そう 市連合青壮年会30周年記念事業

北青壮年会の発足は昭和五十四年五月八日です。その五年前、昭和四十九年五月七日に「天童市壮年集団連絡協議会」が設立され、

昭和五十四年に「天童市連合壮年会」に名称を変えました。当時の意気の高まり、熱い思いは先輩方から語り継

がれておりますが、地域の人たち、隣近所の仲間たちが交流を深め、ふるさとの将来や、夢を語り、活気ある、生き生きとした住みよい地域づくりを推進するために力を結集し、大きな力に成し上げたものに違いありません。今年は、それから数えて三十周年の節目にあたります。

## 身近な舞鶴山に 親しみを

三十周年記念事業に向けては、昨年から理事会を何回も重ね、お金をかけないで、いま、私たちにできることから始めよう、じゃ、何ができるだろうかと意見を交わし、基本方針を立てました。

その企画の一つとして、私たちが小さい頃、遠足で

訪れた舞鶴山、

その思い出は懐かしく尊いものです。私たちが子どもの時代から親しんできた舞鶴山をもっと知り、そしてこれからの子ども達に伝えていくには何をしたら良いか、それを見つめるために学習会を行うことにしました。

## 舞鶴山の 植生を学ぶ



「もみじの天童」とはこの辺り？ 舞鶴山の植生を学ぶ（西斜面）。

九月二十三日（秋分の日）、かつて、蔵増小学校の教師でもありました佐藤定四郎先生の案内で舞鶴山を散策しました。定四郎先生は、「天童市野草と親しむ会」の会長さんです。北青壮年会からは、後藤賢次、秋保栄、佐藤春彦さんが参加しました。

まず、郡役所資料館の南、城山公園の正面右手から登り始めました。初めて登ったコースで、少し足を進めるとソメイヨシノの並木に出会いました。

舞鶴山のソメイヨシノは明治三十五年に天童町小路の鈴木太郎さんが個人のお金で散策路を造り、そして二千本の植栽をしたそうです。県内のソメイヨシノでは一番早く植えられたものだそうです。

定四郎先生が心配していることは、ソメイヨシノの

寿命はおよそ百年と言われ  
ており、舞鶴山のソメイヨ  
シノも日当たりの少ない場  
所とか、道路で根が締め付  
けられている所の木は次第  
に樹勢が弱まってきており  
、手立てが必要になってきて  
いることだそうです。

定四郎先生からは、その  
ほかに、舞鶴山にある植物  
もみじ、つつじ、あじさい、  
やだけ、ゆきつばき、さい  
かち、けやき、あべまきな  
どの説明を聞きました。

日本海側の植物は、雪に  
埋もれ、雪解けとともに起  
き上がる、それを繰り返し、  
弾力があって折れにくい、  
しなやかな性質を持つ。こ  
れは雪国の人の気質、忍耐  
力にもつながっていると先  
生は付け加えておりました。

### 北青壮年会の名札を 付け「大漁桜」を植樹

先に記載しましたが、い  
ま舞鶴山の見事な桜を鑑賞  
できるのは、先人の先がけ  
があったからこそで、連合  
青壮年会でも、記念事業で  
桜を植栽し、次の世代のた

めに、残して行くという  
ことになりました。

十一月二十一日、北青壯  
年会からは今田会長、五十  
嵐利夫、後藤賢次副会長が  
参加して植樹を行いました。  
樹種は「大漁桜」。比較的早  
く咲く桜で、濃いピンクの  
花が咲くそうです。舞鶴山  
の西斜面、イザベラバード  
の碑の西北10mぐらいの所  
に植えました。北青壮年会  
の名札付きですので、皆様  
も生長を見守っていただき  
たいと思います。

(今田光一・秋保栄記)

### 三十年記念ソフト ボール大会雨で中止



毎年恒例の市連合ソフト  
ボール大会も記念事業とし  
て位置付けられ、北青壮年  
会は、七月十八日、市スポ  
セン野球場にて小原青壮年  
会と対戦する予定でした。  
残念ながら雨で中止になり  
北公民館で焼肉とビールで  
部員の懇親を深めました。  
来年は是非、気持ちの良い  
汗をかき、優勝を狙いたい。  
(ソフト部長 鈴木光彦)



### 心密かな目標

北一 土屋 光春  
(S32・4生まれ)

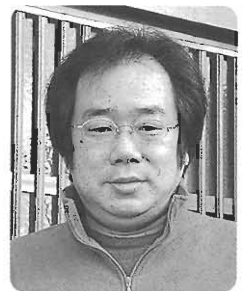
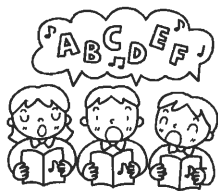
この四月から新庄市にあ  
る県立農業大学校に勤務し  
ており、本年が創立五十周

年にあたり、十月には記念  
式典が開催されました。

十数年来、姉妹校として  
交流があり、アメリカ農業  
研修時のホームステイでお  
世話になつていいるコロラド  
州モーガン・コミュニケーション  
イ・カレッジからも、学校  
関係者十三人が訪れ、式典  
翌日には、学生会主催の歓  
迎交流会がありました。

来客一人を職員と学生が  
十人ほどで囲み、昼食をと  
りながら、話す言葉に耳を  
傾けましたが、半分？くら  
いしか聞きとれず、片言で  
の会話でしたが、とても友  
好的で楽しく新鮮な体験で  
した。

もしかすると、来年あた  
りアメリカ研修の学生を引  
率する役割が回ってくるか  
もしれないので、訪米した  
ときに困らないよう、簡単  
な日常の英会話力を身につ  
けることが今の密かな目標  
です。



### 新春に想つ

北一 那須 泰志  
(S32・7生まれ)

実に早いものだ。年男と  
呼ばれるのも四度目となる。  
五十路ももうすぐと思うと、  
少々歳をとったかなとも感  
じるのだが、何のまだまだ  
気は若い。頭の中はいまだ  
に青年のままである。

しばらく止めていた写真  
をまた撮り始めた。今はや  
りのデジカメである。銀塩  
ありきで考えていた写真へ  
のこだわりが「撮る」から  
「創る」へと大きく変わった。  
格好良く言えば「事実」を  
写すから「記憶」を写すに。  
これまでとはまた違った  
楽しみを見つけた。蓄積し  
た経験を新しいものに活か  
し、新たな「こだわり」を持  
つ、そんな想いを忘れずに、万  
年青年のままで今年も生き  
てみようと思つ。



新春にむけて

北三区 土屋 久雄  
(S32・5生まれ)

今年で四十八歳。折返し地点を十分回ったことにな

る。毎年、今年こそはと思うことがいっぱいある。仕事のことはもちろん、趣味のカメラの技術を高めること、身体を鍛えること。。。など

特に昨年は、山形のサークルで写真展を開催したこともあり、カメラの撮影技法に興味がある。写真展は、今までに無い経験だった。人に観てもらい、色々批評を受ける。辛くもあり、楽しい経験だった。

写真は、一瞬の出来事を一枚のフィルムに写し込む楽しさがある。それが面白く、また難しいのである。

会心の一枚を手に入れたときは、何とも言えない気持ちになる。「心に残るものを撮る。」これを今年のチャレンジに加えたい。

\*\*\*\*\*  
健康に勝る宝なし

北三区 山崎 秀樹  
(S32・5生まれ)

山崎秀樹五月生まれ、

「一に健康、二に健康、三四がなくて五に健康」です。とにかく体が資本なので健康には充分留意したいと思

います。皆さんご存知のとおり私は肥満体ナンバーワンですので、今年は何年ということもあり、体重10キロダイエット、体脂肪25以下を目標にジム通いを続けていきたいと思



昨年、子どものスポ少の保護者会長や、PTA役員等で休日はゆつくりできませんでしたので、今年はリフレッシュも含めて、のんびり温泉旅行でもしてみたいと思っております。

青壮年会で活動しております。まず野山を歩こう会の方にも是非参加して、仲間に入れてもらいたいと思っております。その際は、皆さんご指導よろしくお願い致します。

\*\*\*\*\*  
健康第一、自己研鑽

北三区 東海林 隆  
(S32・5生まれ)

歳を負うごとに、孫が出来たとか、髪が薄くなったとか聞かれます。自分もそんな歳になつてきたのかなあと思

う今日この頃です。来年は酉年、年男ということ、飛躍出来るよう頑張りたいと思

います。まずは、やっぱり健康第一かな。家庭の中では大黒



柱？ 家族を支えていく自分が健康でないと家族を養

つていけないなあと思つ。家庭円満。

次は、存在価値のある人になれれば。会社においても地区においても中堅クラス。人から好かれる様に人間性を磨いていきたいなあ。

何事にも柔軟性を持つて対処していききたいなあ。自己研鑽。

最後に夫婦円満かな。子ども達も二十歳を過ぎ、これからは、夫婦仲良く暮らして行きたいなあ。

平日頃からそう心がけて行きたいなと思



昭和22年のひかり

- \*時世 ・売春防止法実施・主婦の店ダイエー、大阪に1号店開店(H16 産業再生機構に支援要請・新五千円札(表面中央に聖徳太子)、新百円硬貨(表に鳳凰、裏に桜発行)
- ・ポリバケツ1200円と高価で花嫁の仕度品にも。
- \*流行語 ・神様 仏様 稲尾様・何と申しませうか
- \*芸能人生誕
- ・大竹しのぶ・夏目雅子
- \*テレビ放送開始
- ・時事放談・名犬ラッシー
- ・国会討論会・今日の料理
- \*映画 ・喜びも悲しみも幾年月・赤銅鈴の助・戦場にかける橋・OK牧場の決闘・汚れなき悪戯
- \*流行歌 俺は待ってるぜ、錆びたナイフ(石原裕次郎)・東京だよおっ母さん(島倉千代子)・港町十三番地(美空ひばり)・バナナポート(浜村美智子)・チャンチキおけき、船方さんよ(三波春夫)・喜びも悲しみも幾年月(若山彰)・東京のバスガール(コロンビア・ローズ)・有楽町で逢いましょう(フランク永井)



先人の生きた証をたどって…。私達は未来に何を残す？。

# 李之進の道を行く 野山を歩こう会 史跡めぐりレッキンク

十月三日(日)、蔵増地域  
づくり委員会主催の「いな  
ほ史跡めぐり」といも煮会  
に参加しました。

当会からの参加者は八名  
天候はあいにく終日雨。史  
跡めぐりは、矢野目・塚野  
目方面の「李之進の道」コ  
ース。案内役は当会員の秋  
保栄さんです。九時に蔵増  
公民館を出発し、矢野目彦  
五郎の五輪塔、李之進地蔵  
矢口遺跡、塚野目板碑、き  
ゆうり天皇などの場所を訪

れ、縄文時代から鎌倉・室  
町時代を主とする地域の歴  
史に触れました。

いも煮会は、矢野目地区  
西沼田みこし会のご協力の  
もと、林忠二さんのビニ  
ールハウス内で、全て地元産  
食材を用いて料理した「地  
産地消いも煮」をおいしく  
いただきました。

身近に多くの歴史・文化  
遺産があること、そしてそ  
れを知る機会に恵まれたこ  
とは幸いなことです。さら  
に、私達は未来に何を残す  
のだろうかと考えさせられ  
た一日でした。(佐藤俊彦記)

## 山形神室へ

### まみじ祭り

十月二十二日、快晴、参  
加者三名、午前九時、笹谷  
峠から、奥羽山脈に連なる  
ハマグリ山、トンガリ山、  
標高1344mの山形神室

## わたしの作品

《奥山正男さん揮毫》

岩月先生か  
ら書を習い始  
めて十七年の  
月日がたちま  
す。最初は  
「永」の文字  
をすく緊張  
しながら書い  
た思い出があ  
ります。点  
つけ、はね、  
はらいなど

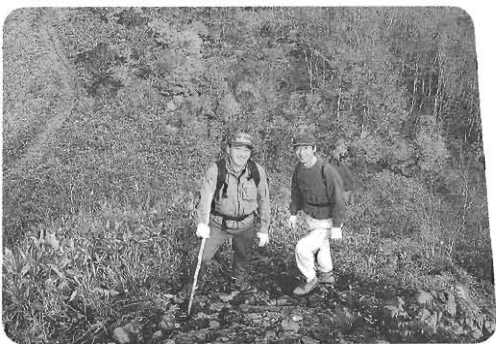
一文字に全ての基本がある  
と指導していただいたこと  
を懐かしく思います。  
東邦書道会に入会し、毎  
月の競書に出品しています。  
昇級した時の喜びは言い表  
せないものです。また次も  
頑張ろうと心に誓うので  
すが、なかなか上手に書けな  
くなった時、先生から小筆  
でかなを書いてみてはと勧  
められました。しかし、変

体仮名なので、意味も読み  
方も分からず書いているよ  
うな次第です。  
地区文化祭に出品する條  
幅も、かなの手本を先生か  
ら書いてもらって、やつと  
のことで出品しています。  
今後の目標は、昇級はも  
ちろんですが、できるだけ  
月二回の練習会に出席して  
細字が上達するように頑張  
ることです。



那三藤本尔 可二 流あ可 なつ遊ぶ農 夜万 起可  
「浪の穂にかすかにやどる赤きいろ夏の夕日のなやましきかな」(若山牧水)  
奥山明竹(正男) 書

をめざし登り始める。途中、  
真新しい熊の足跡を発見。  
チョット危険。熊よけ鈴は  
必携だ。  
山全体が笹山で、尾根づ  
たいを歩く。朝日連峰も壮  
大に見え360度パノラマ。  
紅葉も見事で絶景の一言に  
尽きる。命の洗濯には最高  
の一日だった。(佐藤俊彦記)



水も空気も全てがうまい。熊の足跡にはチョットびっくり

### ☆第31回詰め将棋 将棋部があなたに挑戦

持ち駒 飛金 銀 銀

7	6	5	4	3	2	1
					銀	
					金	
					王	
					銀	
					香	

ヒント 2六に金を打つ前に  
2四の地点を...  
五分で四級(七手詰め)

#### 編集委員

委員長：秋保栄 ・ 常任委員：森山美典、今田仁志、東海林隆 ・ 区選出委員 1区 土屋政美、2区 土屋忠幸、3区 土屋博明  
部選出委員：ソフトボール部 鈴木光芳、将棋部(兼) 森山美典、麻雀部 山崎稔、書道部 佐藤俊彦、写真部 大木富雄



よいしょ、よいしょ、最強南チームと決勝戦



優勝につながるピクトリー・ラン 米ちゃんがんばれ

# 笑顔いっぱい04' あの 場面

- グランドゴルフ大会 (7月4日)
- みんなでビアパーティー (8月7日)
- 北区夏まつり・盆踊り大会 (8月8日)
- 地区レクリエーション大会 (8月29日)
- 地区文化祭 (10月30~31日)・駅伝大会 (11月7日)



平成6年以来的の優勝旗、涙うるうる 佐藤連合会長



初種目「大旋回」ブ〜ン、ブ〜ン 目が回るウ〜



ばんざ〜い 優勝に喜び爆発の鈴木公民館長



腹の底から大笑い、佐藤利光さん  
ノド・チンコが見えるゾー



乾杯、乾杯の連続、  
でも、生樽、間に合うかな〜 (北三区当前)



フライングですが、まずは、かんぱ〜い  
(初めてのビアパーティー H16.8.7)

千穂ちゃん 余裕のスタート  
おつきい兄ちゃんに負けるな



青壮年会の星、土屋博明さん  
ひたむきさに教わるものあり



見事準備優勝 塚野目を猛追する  
素晴らしい走りを見せてくれました。



1年の総仕上げ、地区文化祭、市書展にも出品

# いきいき あの 感動



堀端に咲く華、かわいい踊り子さん



まさにプロ歌手、  
心に響く、菊地義盛さんの熱唱



歴史も学ぶ、野山を歩こう会  
「天童古城をめぐる」に参加 (H16.11.7)



可愛い子には、サービスするからね、  
(夏祭り)



文句ある？ 結果よりチームワーク一番  
(グランドゴルフ大会 H16.7.4)

# この人



日曜日夜のくつろぎの時  
間帯でありましたが、  
無理をお願いして三区の  
土屋貞俊さん宅におじゃ  
まをしました。

貞俊さんは、昭和二十  
七年生まれの五十二歳。  
現在、市内長岡にある井  
上商店に勤務。主に穀物、  
果樹類を工場に配送する  
仕事をしているそうです。  
県外が多く、十年くらい  
前は弘前方面に地元のリ  
ンゴやブドウを運んでい  
ましたが、現在は長野方  
面に十年前と同じ商品を  
扱っているそうです。車  
に積み込みが終わって目  
地に出発するのが夕方、  
二、三日帰って来れない  
こともあったとか。

家業の農業も引き継ぎ、  
水稲・さくらんぼ・桃・ラ

## 地域の友人と 一生の付き合いを

フランスと会社に勤める傍  
ら忙しい毎日を送っていま  
す。

現在の青壮年会に入会し  
たのは、消防団を定年(当  
時三十一歳)により退団し  
てすぐに入会。クラブに所  
属できなかったのも仕事柄  
忙しくて入部できなくて残  
念に思っているそう  
です。

家族構成は、両親  
奥様、長男、次女の  
六人暮らしです。  
趣味は、川や沼に  
行って釣りをするの  
が好きですが、今は  
なかなか時間がとれ  
ないので殆ど竿を持  
っていないそうです。  
以前理事  
として長く  
尽くされ、  
現在、監事  
を務めてお  
ります。青壮年会  
に入ると顔のつな  
がりが出てきてとて  
も良いと話して  
くれました。

(聞き手 土屋博明)

**土屋 貞俊 さん**  
北三区 昭和27年生まれ



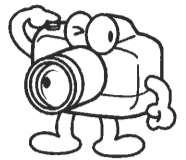
誰? 山頂を勝手に移動しちゃダメよ

**日本百名山  
西吾妻を撮る**  
写真部  
7月24~25日

前日に白布高湯の宿に入  
り、山の写真を話題にして  
酒が進む。

翌朝、ロープウェイに乗  
り一挙に1820mまで登  
る。カモシカ展望台を経て、  
低木の中、木道をとことこ  
歩く。梵天岩の手前に水場  
があり、冷たくてうまかつ  
た。途中中カメラポイン  
トを探し、お花畑の小さな  
白い花を目にしながら進む  
と、でかい岩が目に見えた。  
梵天岩である。天狗岩、吾  
妻神社を經由し、山頂へ向  
かう。標高2035mの山  
頂は、周りの木立ちが高く、

見晴ら  
しはき  
かない。  
帰り  
に、西



吾妻小屋の所で昼食をとる。  
宿で一緒だった長野県の人  
達と会う。彼らは、福島県  
側に下山し、今夜半まで帰  
宅するという。

空の様が変わってきた。  
遠くから雷が聞こえてくる。  
梵天岩に戻ると、雷も近づ  
き、雨もぼつり。さっきの  
水場に戻ったあたりから雨  
が降り出した。カメラをし  
まい、合羽を着て急いでカ  
モシカ展望台に戻ったころ  
晴れてきた。まだ雷が鳴っ  
ているのに、登ってくる人  
達が結構いた。宿に戻り、  
温泉に入って疲れを癒し、  
帰路についた。

(写真部 土屋久雄)

- \*\*\*\*\*
- ☆第31回詰め将棋の回答
- ▲2四銀 △同 金
- ▲1三飛 △1四金寄
- ▲2四銀 △同 銀
- ▲2六金 まで七手詰め

## あとがき

▽今年から初めての編集委  
員。どうすんの、わが  
ね…。の連発。編集の仕事  
は難しい…。また、自分の  
文才の無さに呆れるばかり  
あとがきを書くのにもふむ  
ふむ。なにかぐがな  
アと酒の量はヒートアップ。  
秋保編集長はじめ、委員  
のみなさんごめんなさい。  
来年はがんばります。今年  
一年、お世話になりました。

(一区委員 土屋政美)

▽今年も残すところあとわ  
ずか。また一つ歳をとる。  
どうしたら素敵に歳をとる  
ことができるだろうか？  
歳をとることに魅力が増  
していく人と、そうでない  
人もいる。歳をとりたくない  
と思うっていても歳はとる。  
歳は「漆」のようなもの  
だと思う。塗り重ねること  
に輝きを増していく。歳を  
重ねなければ味わえない喜  
びがたくさんある。歳はと  
るものではなく、重ねるも  
のだと思えば楽になります。  
(ソフト部委員 鈴木光芳)

表紙題字 書道部長 土屋亮竹(博明) 書

### これからの行事

- ・平成17年1月16日(日) 北区新春麻雀大会(北公民館)
- ・2月11日(金) 北区新春将棋大会(北公民館)
- ・2月27日(日) 北青壮年会平成16年度総会(北公民館)
- ・1月30日(日) 蔵増地区青壮年会ボウリング大会(空港ホール)
- ・2月27日(日) 市連合青壮年会ボウリング大会、将棋大会